



エコテクさんと学ぶ、**エコ** × **AI**

エコテクノ ネオ NEO



エコテクさん

わしはエコの技術者じゃ。
「エコテクさん」と呼ばれているよ!

だい かい
第4回

き 着られずに捨てられる服

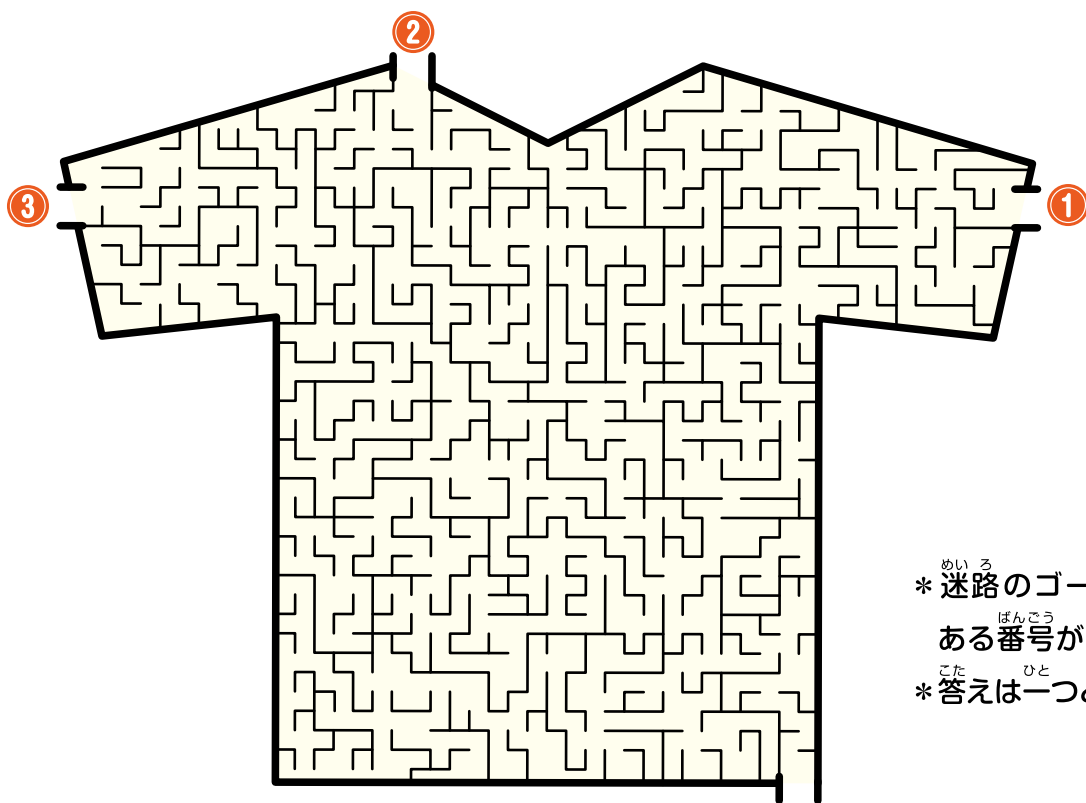


PIXTA

もん だい
問題

服のごみを減らすために、
AIがしてくれることは?

- ① 似合う服を教える
- ② 次に流行する服を操作する
- ③ どれくらい売れるのかを予想する



- * 迷路のゴールのところに
ある番号が答えだよ
- * 答えは一つとは限らないよ

スタート

1

今回は、みんなが毎日着ている服の話だよ。若者は流行に敏感な人が多いよね。みんなはどうか？ 昔は、夏服や冬服など「四季」で流行の服が考えられていたけれど、最近では「52 マイクロシーズン」といって、1年を52個に分けて、短いサイクルで最新の流行が生み出されているところもあるんだって

1 マイクロシーズン

II

やく なの か しゅうかん
約7日 (1週間)



新しい流行の服を大量
に作って安く売るとい
う売り方を「ファスト
ファッション」というよ

2

流行に乗って次々に新しい服が作られると、人々はどんどん新しい服を買うようになるよね。日本では、なんと1年間で30億着以上の服が供給されている。しかし、その半分の約15億着は売れ残り、新品のまま捨てられるといわれているんだ

3

売れ残る原因としては、より多くの服を売るために作りすぎている、気温が高すぎたり低すぎたりして思ったように売れない、流行が短期間で変わってしまうなどがある



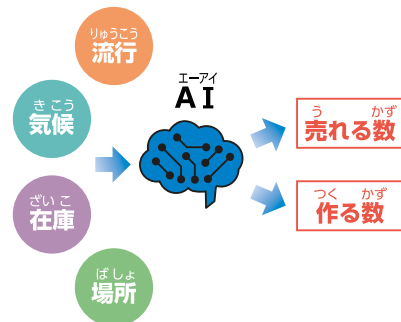
コットン

4

これにはどんな問題があるかな？ 服を作り、運び、捨てる時に使う電気などのエネルギーはもちろん無駄になるよね。ほかに、Tシャツの素材のコットン（綿）を栽培するにはたくさんの水が必要で、Tシャツ1枚を作るのに約2700リットルの水（お風呂約13杯分）を使うといわれている。売れ残って捨ててしまったら、それも無駄になってしまう

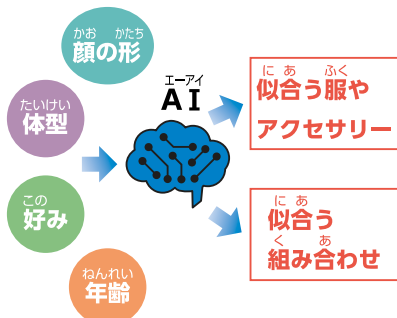
5

この問題を解決するにはどうすればいいだろう。一つは服を作りすぎないこと。もう一つは服を買いすぎないこと。長い目でみると、売れる服の量が少なくなれば、作られる服の量も減るからね。では、そのために活用されているAIを紹介するよ



6

一つ目は、服がどれだけ売れるのかを予測するAI。流行や気候の変化、どこでどういう人に売れるのかを考えて、作るべき量を決めてくれる。在庫の管理もしてくれるよ



7

二つ目は、似合う服を教えてくれるAI。似合っている服なら、大事に使って長く着るよね。似合わない服を買ってしまい、着ないまま次の服を買うなんてことも減る

8

作ったものに対してどう責任を取るか。これは作った人間が考えないといけないことだけれど、AIはその手助けをしてくれているんだね